

国営常陸海浜公園 みはらしの里

国営公園・郷土景観・民家移築

■主旨・内容

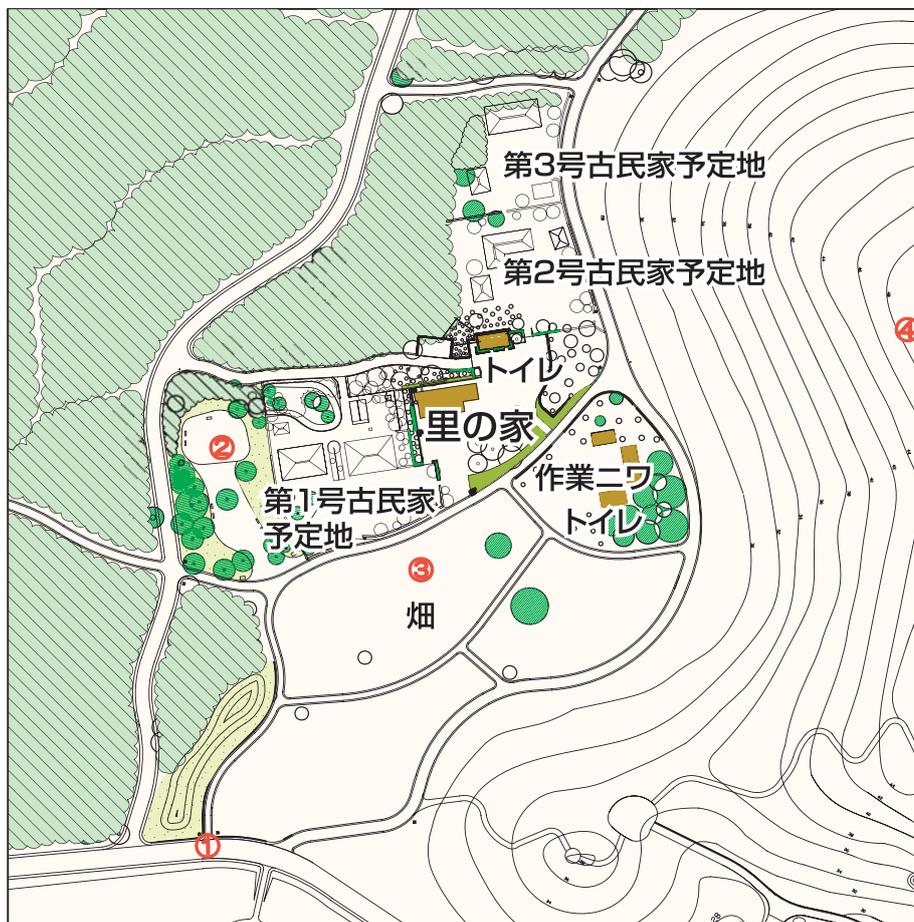


「みはらしの里」は、上位計画である「国営ひたち海浜公園整備プログラム」に基づき、ひたちの風土・文化を育み、継承していくことに重点を置き、広域的視点からの民俗・文化の交流を図る、本公園に於ける拠点施設として位置付けている。

整備及び運営テーマを「なつかしい村の風景と活動」として、常陸国の江戸期から昭和にかけての農村風景を、古民家や畑を中心とした園地によって再現するものである。

主要施設となる古民家整備は段階的に行い、村づくりの物語を展開していく。古民家の様式は時代の変遷に合わせて変化を遂げてきたことから、本エリアでは古い時代から新しい時代の民家と、時代に対応した様式の民家によって、村の発展を表現していくものである。

業務にあたっては、学識委員（民家史、民俗、造園）及び行政委員による整備検討委員会によって、多面的な検討を行った。



■全体平面図



■景観シミュレーション①



■景観シミュレーション②



■景観シミュレーション③



■景観シミュレーション④

■諸元

公園名称： 国営常陸海浜公園
 施主： 国土交通省 関東地方整備局
 国営常陸海浜公園事務所
 (社団法人 日本公園緑地協会)
 所在地： 茨城県ひたちなか市
 敷地面積： 153.2ha (供用面積)
 対象面積： 6.1ha (みはらしの里)
 業務内容： 基本計画・基本設計・実施設計
 設計期間： 2004.09～2007.03

	準備段階	第1段階	第2段階	第3段階
ストーリー	人が集まる 活動拠点の整備 畑や土づくりなど	里の始まり 古い時代の古民家 風景園の礎を築く	里の発展 活動施設の充実 景観の向上	里の成熟 活動の幅を広げる 多様な古民家景観を紹介
段階的整備	里の家・作業ニワ	第1号古民家エリア	第2号古民家エリア	第3号古民家エリア
古民家 (建立時期と様式)		『直屋』 (17世紀の民家を復元)	『曲屋』『養蚕家屋』など	